

# 夕手スポ

橘高等学校定時制  
運動部通信  
2022.5.30  
第104号

令和四年度 全国高等学校定時制通信制  
バスケットボール大会 神奈川県予選会

結成から8年 全国大会をみざす神奈川県予選でついに!

# 初の初戦突破

エースとして  
24得点の活躍を見せた  
石村光太郎(3年)

5月15日(日)、相模向陽館高校で  
全国高校定通制バスケットボール大会  
の神奈川県予選1回戦が行われた。相手  
は横須賀市立横須賀総合高校。橘高校バ  
スケ部はこれまでこの大会で1回戦を突破し  
たことがない。そのため、ウォーミングアップ  
から緊張感が高まっていた。  
しかし、試合が始まると、  
全員がシュートを決める  
活躍を見せた。



橘高校 83-7 横須賀総合高校



勢いのある攻撃と集中力の  
あるディフェンス  
**第1クォーター**

第1クォーターが始まると、早速石村光太郎(3年)が2連続でシュートを決める。そこから勢いの出てきた橘は、土屋優(4年)、牧田風世(2年)、ジョンカルロ(3年)、吉田響(2年)も次々とシュートを決める。さらに守備では、チームメイトと声をかけ合い、集中したディフェンスで相手に得点を許さず、第1クォーターを22-0で終える。

攻撃で相手を圧倒する  
**第2クォーター**

第2クォーターも勢い落とさず攻撃を仕掛け、相手を圧倒する。特に、土屋優は攻守の切り替えが誰よりも早く、味方に声をかけ続けチームの心臓として活躍をした。そして、前半を41-3で折り返す。

公式戦初出場ながら  
堂々としたプレーを見せた  
吉田響(2年)

## 全員が自らの役割を果たし



## チームのために動いたからこそその勝利

勢いを加速させリードを広げる  
**第3クォーター**

第3クォーターからは水田堅(4年)が初出場を果たす。誰よりもコート内を走り回る熱意溢れるプレーを見せ、公式戦初得点も決める。また、第3クォーターは吉田響が多くのシュートを決め、チームの勢いを加速させる。そして61-7とリードを広げる。

最後まで集中力を持って戦う  
**第4クォーター**

第4クォーターは仲村紫恩(2年)が初出場し、5得

部員全員が  
シュートを決める!



キャプテン  
土屋 優 (4年)

点の活躍を見せ、チームをさらに盛り上げる。最後まで集中を切らさず相手に手を圧倒し、最終的には83-7で圧勝することができた。  
中でも石村光太郎は24得点の活躍を見せ、エースとして十分な結果を残した。また、牧田風世も初めてのポジションで上手いかならないこともあったが、常に声を出してチームを盛り上げ続けた。全員が自らの役割を果たすことに加えて、チームのために動いたからこそその勝利であったように思える。  
(バスケットボール部顧問 藤生 昇)

声を出して  
盛り上げ続けた  
牧田風世(2年)

